

令和6年12月



# 前期学校評価アンケート 結果と分析

京都市立北総合支援学校中央分校

**令和6年度 前期学校評価アンケート にご協力いただき、ありがとうございました。**

- ◇ 実施期間 令和6年9月19日（月）～9月24日（火）
- ◇ 対象者・回答率

	保護者			教職員 76	児童生徒		
	小	中	高		小 24	中 18	高 36
対象者数 (人)	78			78			
回答者数 (人)	23			63	0	0	18
回答率 (%)	29%				0%	0%	50%
					23%		

- ◇ 分析・表示方法

- ・ 4つの選択肢（よくできている、大体できている、あまりできていない、できていない）の総数に対して、「よくできている」と「大体できている」を合わせた“肯定的な回答”的数値を、保護者・教職員・児童生徒や、各項目間で比較し、分析します
- ・ 成果や課題を把握しやすいように、90%以上を黄緑（できている）、80～90%未満は白、80%未満は赤（できていない）で表示します

## 0 【全体】※大項目内の平均値

目指す児童生徒像	保護者	教職員	児童生徒
1 健やかな身体をつくる	95.7	97.2	90.0
2 元気にあいさつをする	88.4	95.2	91.7
3 考え、工夫し、生き生きと表現する	92.4	93.3	91.7
4 願いや夢を持って心豊かに生きる	78.3	86.2	91.7
5 役割を担い、役に立とうとする	82.6	89.7	88.9
6 他者とともに生き、学び合う	88.0	94.0	92.6
(7 全体)	87.0	97.6	

- ・ 保護者の回答率が29%と低い数値になりました。一般的なアンケートの回答率の平均は3割程度といわれており3割を切らないことが理想的です。教育活動の改善に色々な立場からの評価、意見が大切です。集計作業的にはFormsが効率的ですが、後期は紙アンケートも合わせて配布する事で回答率の向上をめざします。また、今回は回答期間中に一度すぐ一で回答への協力を呼びかけましたが、後期はその回数を増やすことなども検討します。
- ・ 目指す児童生徒像の大項目で見ると、保護者・教職員・児童生徒とも、どの項目も概ねバランスよく肯定的な回答がありました。4の項目は保護者と教員の回答に7.9ポイントの開きがあり。また、全体の平均としては保護者と教職員では10.6ポイントの開きがありました。

## 1【健やかな身体をつくる】

保護者・教職員 設問	児童生徒 設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、自分の身体や心を大切にしようとしている	①手洗いやうがいを毎日していますか	95. 7	96. 8	94. 4
	②早ね早起きをしていますか			83. 3
2 学校は、健康維持や体力づくりに関する取組を十分に行なっている	③ランニングやからだの学習などで、けんこうながらだづくりをしていますか	88. 4	98. 4	94. 4
	④ふあんな時やしんどい時に、自分のきもちをまわりの人につたえていますか			83. 3
3 校内や教室は、清掃され、衛生的である	⑤学校や教室のそうじやかたづけをしていますか	100. 0	96. 8	94. 4
4 学校は、教材や備品の整理整頓、安全、事故防止に配慮している		91. 3	96. 8	

- ・1【健やかな身体をつくる】については、1~4すべての項目において保護者・教職員・児童生徒の全てにおいて高い評価になりました。
- ・健康面では今年度も高温が連日続きましたが、熱中症の重大事故が起こることなく、健康面に配慮しながら取組みを行えたのではないかと思います。開校初年度であることから衛生面においては高い数値になっていますが、清掃や片付けの習慣、ルールを教職員・児童生徒全員で定着させ、維持していくことが大切だと考えます。また、段差やフェンスなど安全、事故防止については教育活動が進む中で今後も課題が出てくると思うので、毎月の安全点検を確実に行い適宜対応する。
- ・自由記述欄にも水泳学習についての意見がいくつかありました。施設面のことですので、根本的な解決にはなりませんが、水泳学習の機会確保ができるように次年度に向けて検討をしていきます。
- ・児童生徒も、全項目に対して比較的肯定的な評価です。設問④の心理面については、今後も、教職員の日々の関わりや「保健の日」の取組、必要に応じたスクールカウンセラーの活用などにより、児童生徒の心理的な安定と適切に表出する力を高めていきたいと考えます。

## 2【元気にあいさつをする】

保護者・教職員 設問	児童生徒 設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、自分なりの方法であいさつをしている	①自分からあいさつをしていますか	87.0	93.7	88.9
2 学校は、児童生徒が自分なりの方法であいさつできるように取り組んでいる		87.0	95.2	
3 教職員は、適切な言葉遣いや態度で児童生徒・保護者・来校者に接している	②先生は、人にあいさつをしたりていねいにかかわったりしていますか	91.3	96.8	94.4

- ・挨拶に関するこの質問項目群では、保護者・教職員・児童生徒ともに、高評価を得ています。校内では、ワークスタディや個別課題等で学級、学年以外の人と関わる場面が設定され、今年度初めて会う教職員にも少しづつ慣れ、職員室へも自分なりの方法でしっかり挨拶して来室する場面がしばしば見られるようになりました。
- ・挨拶の方法は一人一人異なりますが、挨拶には、相手の存在に気付く力や、相手とコミュニケーションをとろうとする姿勢が必要です。今後も、教職員が挨拶をする姿を見せたり、児童生徒に挨拶を促したりするので、児童生徒の表現方法や発信する力、人と関わる力を高め、社会性の向上につなげていきたいと考えます。1と2の項目では保護者と教職員の評価に少し開きがあるので、学校での取組を家庭、地域でも発揮できるような方策を検討していくことが課題だと思われます。

### 3【考え、工夫し、生き生きと表現する】

保護者・教職員 設問	児童生徒 設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、考 え、工夫し、生 き生きと学習に 取り組んでいる	学校の学習で 「でき た！」 「やつ た！」とかんじ ますか	91. 3	92. 1	88. 9
2 教職員は、児 童生徒が考え、工 夫し、生き生きと 学習に取り組める ように授業や教材 を工夫している	先生はわかりや すくおしえてく れますか	91. 3	92. 1	94. 4
3 学校は、児童 生徒が生き生き と主体的に取り 組める授業や取 組、行事を設定 している	学校生活はたの しいですか	91. 3	98. 4	88. 9
4 教職員は、児 童生徒の学習や 取組の成果・努 力を適切に評価 している	先生は、がんば っていることや できたことをみ とめてくれます か	95. 7	90. 5	94. 4

- ・この質問群に関しては全ての項目において高い評価になっています。小規模な学校な為、児童生徒のことがわかりやすい環境であり、自然と学部間を超えて児童生徒に言葉かけができるのではないかと思われます。また、教職員は、学校教育目標「自分から 自分で 自分らしく みんなとともに学び合う子どもの育成」のもと、「個別の包括支援プラン」に基づいて、教え込む授業ではなく、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに取り組んでいます。また、そうすることが卒業後に社会参加をする上で必要な力が身につくと考えます。全体的に高い評価となっている背景には、教職員が「子どもたちがもっと考え、もっと工夫し、もっと生き生きと表現するためには、どんな工夫が有効だろうか」「もっとできることがあるのではないか」と日々試行錯誤している意欲が表れている面があると考えます。

#### 4【願いや夢を持って心豊かに生きる】

保護者・教職員 設問	児童生徒 設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、願いや夢に向かつて生き生きと学習している	わからないときは自分から他の人にすすんできていますか	73. 9	85. 7	88. 9
2 「個別の包括支援プラン」は、本人および保護者の「願い」「目指す姿」の実現を目指したものになっている	学校生活は、なりたい自分になるためにやくにたっていますか	87. 0	84. 1	94. 4
3 保護者、担任、授業担当者で児童生徒の実態や目指す姿、学習内容を共有している		73. 9	88. 9	

4【願いや夢を持って心豊かに生きる】については、保護者の評価が70ポイント台と低く、教職員の評価も他の大項目より低くなっています。保護者の自由記述にもあるように、アンケート実施時期が個別懇談会の前だったことも影響していると思われます。次年度は実施時期を調整します。

- ・設問1と3においては保護者の評価が低くなっています。本人の願いや夢は捉えにくい場合もありますが、普段の児童生徒の姿・行動から読み取り、懇談会だけではなく、日々の連絡帳や電話連絡の際のコミュニケーションも大切な機会と捉え、保護者と学校との間ですり合わせることで、より本人に寄り添った捉え方になるように努め授業内容にも反映させたいと考えます。
- ・設問2にある「個別の包括支援プラン」は、本人および保護者の願いや目指す姿の実現を目指して作られるものです。日々の授業や取組、教職員の研修会や研究会活動への積極的な参加を通して、より充実した個別の包括支援プランへの落とし込みに繋げられるように取り組んでいきます。また、個別の包括支援プランは児童生徒の新しい情報や、児童生徒の実態に変化があった場合は随時更新を行い、懇談会等の機会で共有することに努めます。

## 5【役割を担い、役に立とうとする】

保護者・教職員 設問	児童生徒 設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、家庭で任された役割にやりがいを持って取り組んでいる		91. 3	71. 4	
2 児童生徒は、学校で任された役割にやりがいを持つて取り組んでいる		78. 3	95. 2	
3 学校は、児童生徒が役割を担うことで自己有用感が高まるよう活動の機会や場を設定している	まかされたことにせきにんをもってとりくんでいますか	78. 3	100. 0	88. 9
4 学校は、児童生徒の目指す将来の生活（進路）を見据えて、適切な指導および支援をしている		82. 6	92. 1	

- 役割活動に関する設問1・2に関して、“家庭の場”では教職員が低い評価、“学校の場”では保護者が低い評価となっています。児童生徒の家庭での様子、学校での様子が、保護者とのやりとりや児童生徒本人とのやりとりの中で、十分に伝わっていないかもしれません。それぞれの場での様子を知ることは、児童生徒の力が様々な場面で発揮できることにつながると考えます。
- “家庭の場”での役割活動については、家庭はリラックスをする場であり、円滑な生活が優先であるため、児童生徒に役割を任せにくいうことが表れていると考えます。しかし家族の一員として家庭でも「やりがい」の積み重ねができるように、学校で頑張っている役割を家庭に移行しやすい学習活動を組み立てたり、有効な支援方法を提案したりするなど、学校と家庭の連携を意識して進めていきたいと考えます。
- 学校では、学級活動や学習など様々な場面で、役割活動の機会を意識的に設定しています。当番や係活動、日常のあらゆる場面で任せられたことに生き生きと取り組む児童生徒の姿を評価しています。積極的に発信する必要があるかと思われます
- 進路指導に関する設問4については、保護者と教職員の間に 9.5 ポイントの開きがありました。進路について不安に感じられている保護者が一定数おられるものと考えます。これまで以上に積極的に、進路指導について保護者のニーズや相談に寄り添うことと、情報発信を行うことが大切であると考えます。また進路指導は高等部のイメージがあるかもしれません、どの学部においてもその時に必要な将来の生活（進路）を見据えた指導を行う必要があると考えます。

## 6【他者とともに生き、学び合う】

保護者・教職員 設問	児童生徒 設問	保護者	教職員	児童生徒
1児童生徒は、友だちに親しみを持って、学校生活を送っている	友だちとなかよくすごしていま すか	100.0	95.2	94.4
2学校は、児童生徒の社会参加に向けて、多様な人と関わる取組を設定している（校内、地域、交流学習及び共同学習）	かぞくや友だち、先生をたいせつにしていま すか	69.6	93.7	88.9
3児童生徒は、きまりや約束を守って学校生活を送っている	きまりややくそくをまもつていますか	95.7	93.7	94.4
4学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように指導している		87.0	93.7	

- 【他者と共に生き、学びあう】においては、3者とも全体的に高評価となりました。今年は中央分校開校初年度で、新しく出会う友達、先生がたくさんいましたが、児童生徒は友だちや先生に親しみをもって学校生活を送っていることが分かります。学校という集団生活の場でトラブルは当然起るものですが、それをどのように乗り越えるか、ということも社会生活を送るにあたっては大切な学習だと考えます。現時点では高い評価になっていますが、他者との関わりの中で困りが生まれたときは教職員、保護者が一緒に支えていきたいと思います。
- 設問2に関してはアンケート全体で一番低い評価になりました。要因としては交流学習がまだ本格的に始まっていない時期であることや、開校初年の前期なので、学級、学年での取組が中心になり、校外学習、地域との関わり等の学習設定が進んでいなかったこと等が考えられる。いずれにしても多様な人と関われる力は進路選択の幅を広げたり、豊かな余暇生活を送ったりする上でとても大切であることから、後期に向けて様々な活動場面を設定していく。
- ルールなどに関する設問3・4について。きまりや約束を守ることは、社会生活を送る上で重要です。「きまりだから守らなければならない」という押し付けではなく、「きまりを守ると、自分も周りの人も過ごしやすい」と実感できるように、今後も地道な取組を進めていきます。

## 7【全体】

保護者・教職員 設問	児童生徒 設問	保護者	教職員	児童生徒
1 教職員は、本人・保護者の思いを受け止め、誠実に対応している		87.0	95.2	
2 学校は、学年だよりや学校だより、スクリレ、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている		87.0	100.0	

- ・この質問群は、「目指す児童生徒像」にこだわらず、学校全体について評価する項目になっています。
- ・保護者、教職員ともに低い評価ではありませんが、どちらの設問も約10ポイントの開きがあります。今後もこの差が縮まるように教職員は、保護者と日々の連絡帳、懇談会での話し合い、必要に応じた電話や家庭訪問等で、誠実に対応するように努めています。
- ・設問2の学校の様子の発信については、すぐーるによる授業や行事の様子を発信しています。ホームページでは全体の様子、すぐーるではより詳細な様子がわかるように、棲み分けて発信しております。学校教育活動の情報発信と説明責任を適切に実行し、「社会に開かれた学校」につなげていきたいと思います。またそれが、本校の児童生徒の社会的理解につながり、共生社会の実現につながると考えます。

## 【自由記述欄】

### 《保護者》

- ・教員の数が少ないように思います。新たにできた学校で大変だとは思いますが、子どもたちに寄り添ったもう少し気持ちに余裕のある学校になるよう願っています。
- ・まだケース会が終わってないので、わからないと言う回答が多くなりました。
- ・ブログの更新いつもありがとうございます。楽しみにしています。
- ・元気な先生方が多く、親子共々パワーを頂いています。
- ・本校から分校への転校は不安だったが、教職員の方々が温かく迎えてくださり子どもはとても楽しく通えている。いつもありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます
- ・入学当初から誠意ある指導をしていただきとても感謝しています。子供も集団生活に慣れ始めまだまだ学ぶ事ばかりですがその都度丁寧に対応いただいているので親としてとても安心しています。
- ・こんなに暑いのに、プールや水遊びの回数が少なくて残念です。このアンケートのリンクは PDF ではなく、本文に貼って欲しいです。

## 【自由記述欄】

### 《教職員》

- ・お手洗いのスリッパがいつも乱れているため整頓している。みんなで整頓していきたい。
- ・教室を増やして欲しいです
- ・学年の総合の時間がレクリエーションに偏っているので、もっと丁寧に生徒の目標に沿って内容的に充実したものになればいいと思う。
- ・学校規模が小さいため、全学部の様子が見えやすく、学部を越えたかかわりができる。子どもたちをチームでみることができている。今後は地域とも密接に繋がり、中央分校が支援学校として地域から受け入れられる学校を目指したい。
- ・開校一年目で、思い通りにいかないこともたくさんある中で、なんとか工夫しながらやってきたと思います。経験を活かして次年度に向けた準備をしっかりと進めていくことが大事だと思います。

### 《児童生徒》

- ・プールに入る回数増やして欲しいです
- ・東メンバーと一緒に卓球バレーをしたいです
- ・学校楽しい。ぷーるもっとあつたほうがいいです。
- ・喧嘩がないところ
- ・これからも喧嘩せずに気持ちいい学校生活を送る！(◎\_◎;)
- ・仲良く学校生活をおつくった方がいい
- ・生徒みんなが明るく前向きに学校生活を送れるように、頑張って休まず学校に来て欲しい。教室や廊下、体育館、グラウンドなど汚さずきれいに使った方が良い。